

(仮称) 郡山市こども計画策定にかかる 各種アンケート調査

— 調査結果概要（速報版） —

<目 次>

I	調査概要	1
II	調査結果速報	2
1	【子育てしやすい環境づくりアンケート】（ニーズ調査）	2
	（1）子どもと家族の状況	2
	（2）保護者の就労状況	4
	（3）世帯の家計の状況	6
	（4）平日の「定期的な教育・保育事業」の利用状況・利用希望.....	9
	（5）子育て支援事業の利用状況・利用希望.....	11
	（6）家庭の子育てについて	13
	（7）地域の子育て支援	19
	（8）今後の市の取組について	22
2	【子ども・若者に関するアンケート調査】	24
	（1）対象者の状況	24
	（2）日頃の意識と生活について	26
	（3）悩みごとや相談先	32
	（4）今後の郡山市への居留意向（15～39歳のみ）	34

I 調査概要

1 調査の目的

本調査は、「(仮称) 郡山市こども計画」の策定にあたり、国の「こども大綱」を勘案し、子育て世帯の意識と生活環境・子育てサービスの利用状況等の把握、および市内の子ども・若者を取り巻く状況を把握することを目的として実施しました。

2 調査種別

- ・子育てしやすい環境づくりアンケート（ニーズ調査）
郡山市在住の未就学児、小学生を無作為抽出し、その保護者に回答を依頼
- ・子ども・若者に関するアンケート調査
郡山市在住の10～14歳、15～39歳の市民を無作為抽出し、回答を依頼

3 調査期間

令和6年7月2日（火）～令和6年7月26日（金）

※集計には7月31日(水)までの回収票を含めています

4 調査方法

郵送配布/郵送及びWEB回収（回答率を向上させるため、WEB回答を併用）

5 回答状況

【子育てしやすい環境づくりアンケート】（ニーズ調査）

調査対象者	調査票配布数①	有効回答数②	有効回答率 ②/①
郡山市在住の未就学児の保護者	2,000件	881件	44.1%
郡山市在住の小学生の保護者	1,500件	669件	44.6%

【子ども・若者に関するアンケート調査】

調査対象者	調査票配布数①	有効回答数②	有効回答率 ②/①
郡山市在住の子ども（10～14歳）	2,000件	805件	40.3%
郡山市在住の若者（15～39歳）	2,000件	511件	25.6%

II 調査結果速報

子育てしやすい環境づくりアンケート（ニーズ調査）と子ども・若者に関するアンケート調査の一部の調査項目を抜粋し、速報として集計を実施しました。今後、回答データの精査によって数値が変動する可能性があります。

【調査結果の見方】

- n (number of cases) は回答割合算出における基数であり、100.0%が何人の回答に相当するかを表しています。
- 回答割合は百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。したがって、単一回答式の質問においては、回答割合を合計しても100.0%にならない場合があります。また、複数回答式の質問においては、各設問の調査数を基数として算出するため、全ての選択肢の割合を合計すると100.0%を超える場合があります。
- 各設問において回答のなかった選択肢については、図表内で「-」と表記しています。

1 【子育てしやすい環境づくりアンケート】（ニーズ調査）

(1) 子どもと家族の状況

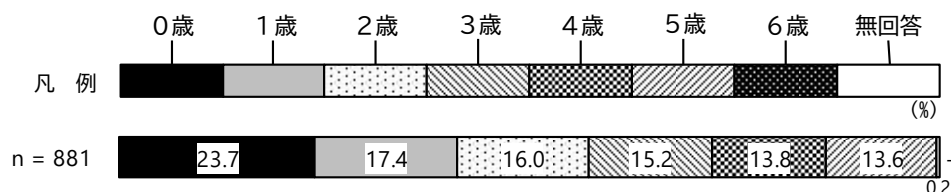
① 子どもの年齢

- ▶子どもの年齢について、未就学児では「0歳」が23.7%と最も高く、次いで「1歳」(17.4%)、「2歳」(16.0%)となっています。
- ▶小学生では、「小学1年生」と「小学2年生」がともに19.9%と最も高く、次いで「小学3年生」(17.3%)となっています。

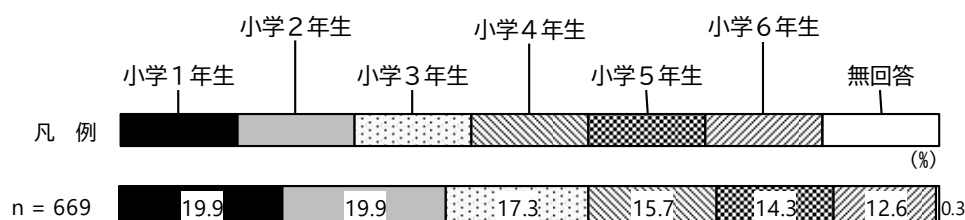
問2 あて名のお子さんの生年月をご記入ください。

[あて名のお子さんの令和6年度の学年をご記入ください。]

【未就学児】



【小学生】

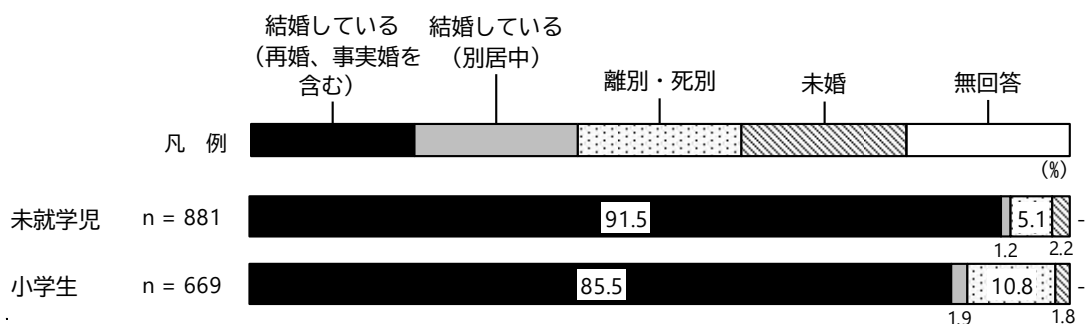


② 保護者の婚姻状況

- ▶保護者の婚姻状況について、未就学児では、「結婚している（再婚、事実婚を含む）」が91.5%、「結婚している（別居中）」が1.2%、「離別・死別」が5.1%、「未婚」が2.2%となっています。
- ▶小学生では、「結婚している（再婚、事実婚を含む）」が85.5%、「結婚している（別居中）」が1.9%、「離別・死別」が10.8%、「未婚」が1.8%となっています。

問4 この調査票にご回答いただいている方の婚姻状況についてお答えください。
(○は1つ)

【未就学児・小学生】



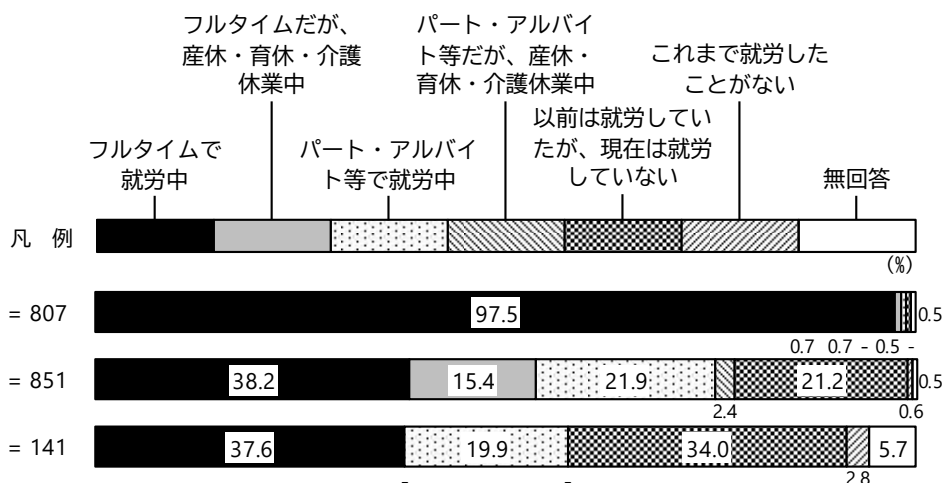
(2) 保護者の就労状況

- ▶未就学児の父親の就労状況については、「フルタイムで就労中」が97.5%と最も高く、次いで「フルタイムだが、産休・育休・介護休業中」と「パート・アルバイト等で就労中」（ともに0.7%）となっています。
- ▶未就学児の母親の就労状況については、「フルタイムで就労中」が38.2%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労中」（21.9%）、「以前は就労していたが、現在は就労していない」（21.2%）となっています。
- ▶未就学児の祖父母の就労状況については、「フルタイムで就労中」が37.6%と最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」（34.0%）、「パート・アルバイト等で就労中」（19.9%）となっています。

問7 あて名のお子さんの同居している保護者の、現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてお答えください。

（父親・母親・祖父母それぞれのあてはまる項目1つに○）

【未就学児】

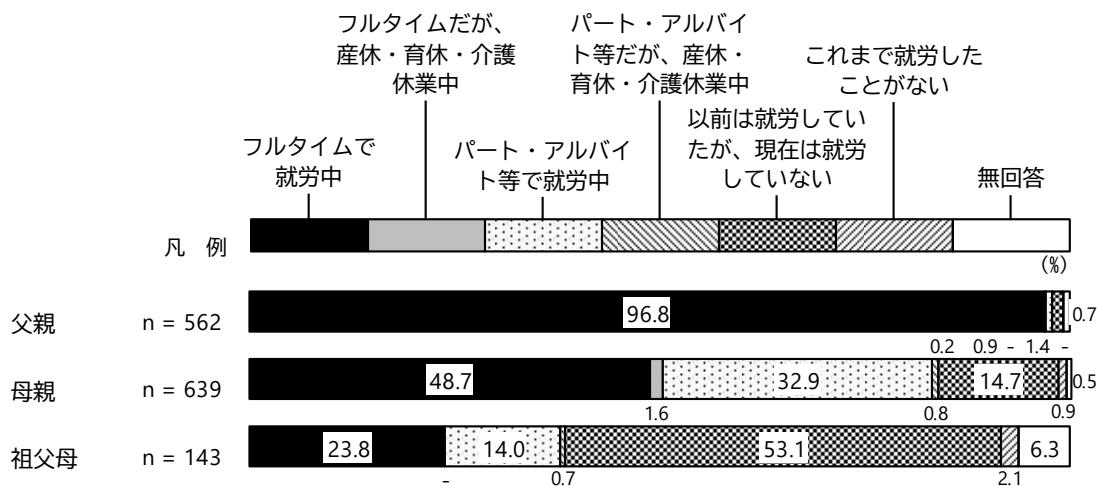


- ▶小学生の父親の就労状況については、「フルタイムで就労中」が96.8%と最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」(1.4%)、「パート・アルバイト等で就労中」(0.9%)となっています。
- ▶小学生の母親の就労状況については、「フルタイムで就労中」が48.7%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労中」(32.9%)、「以前は就労していたが、現在は就労していない」(14.7%)となっています。
- ▶小学生の祖父母の就労状況については、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が53.1%と最も高く、次いで「フルタイムで就労中」(23.8%)、「パート・アルバイト等で就労中」(14.0%)となっています。

問7 あて名のお子さんの同居している保護者の、現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてお答えください。

（父親・母親・祖父母それぞれのあてはまる項目1つに○）

【小学生】



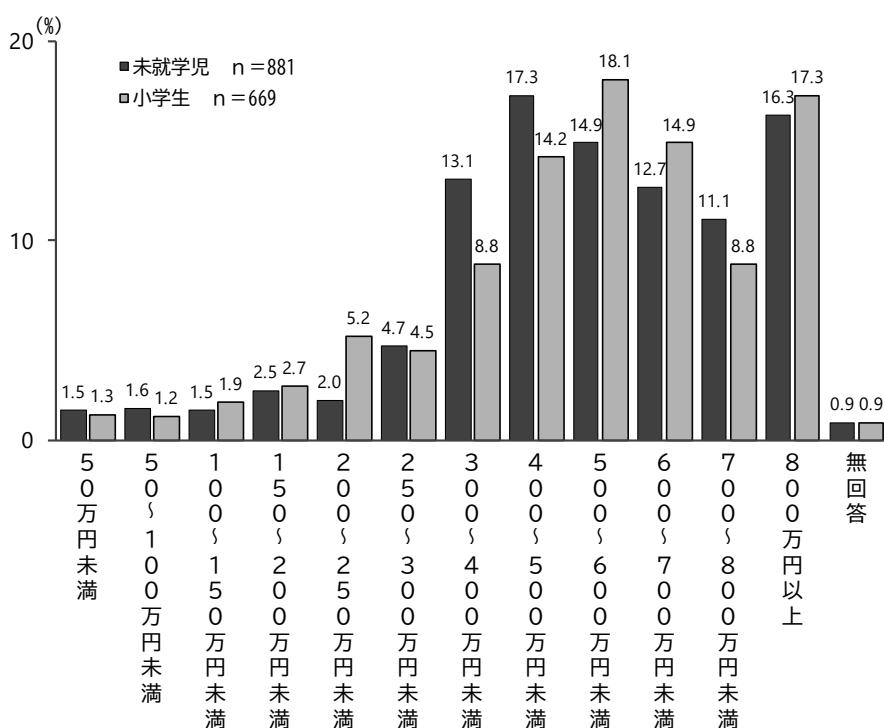
(3) 世帯の家計の状況

① 世帯の年収

- ▶世帯の年収について、未就学児では、「400～500万円未満」が17.3%と最も高く、次いで「800万円以上」(16.3%)、「500～600万円未満」(14.9%)となっています。
- ▶小学生では、「500～600万円未満」が18.1%と最も高く、次いで「800万円以上」(17.3%)、「500～600万円未満」(14.9%)となっています。

問12 令和5年中の、世帯を合わせたの年収（手取りの収入。副業や各種手当も含む。）は、およそどのくらいですか。（○は1つ）

【未就学児・小学生】

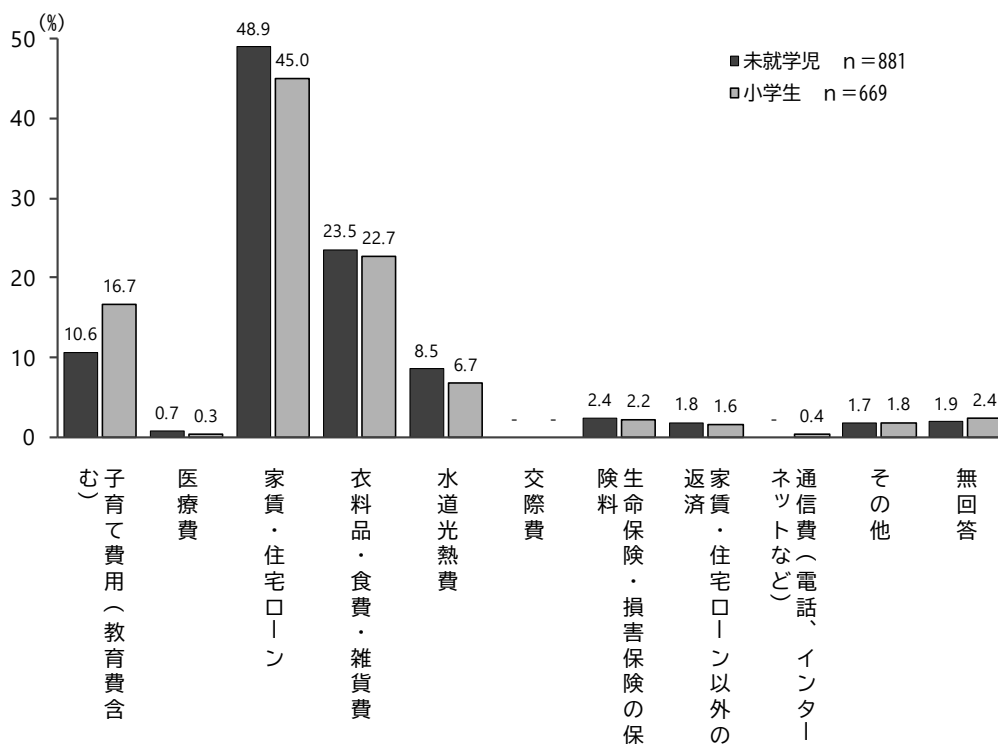


② 家計で最も負担になっているもの

▶家計で最も負担になっているものについて、未就学児と小学生では同傾向となっており、「家賃・住宅ローン」(未就学児 48.9%、小学生 45.0%) が最も高く、次いで「衣料品・食費・雑貨費」(未就学児 23.5%、小学生 22.7%)、「子育て費用(教育費含む)」(未就学児 10.6%、小学生 16.7%) となっています。

問 13 世帯の家計で最も負担となっているものは何ですか。(○は1つ)

【未就学児・小学生】

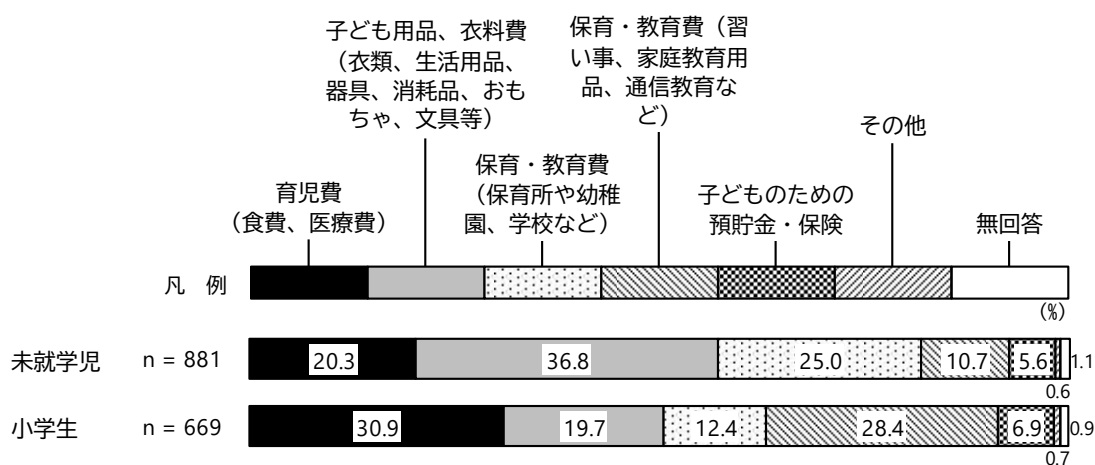


③ 子育て費用のうち、最も支出の大きい項目

- ▶子育て費用のうち、最も支出の大きい項目について、未就学児では、「子ども用品、衣料費（衣類、生活用品、器具、消耗品、おもちゃ、文具等）」が36.8%と最も高く、次いで「育児費（食費、医療費）」(20.3%)、「保育・教育費（保育所や幼稚園、学校など）」(25.0%)、「育児費（食費、医療費）」(20.3%)となっています。
- ▶小学生では、「育児費（食費、医療費）」が30.9%と最も高く、次いで「保育・教育費（習い事、家庭教育用品、通信教育など）」(28.4%)、「子ども用品、衣料費（衣類、生活用品、器具、消耗品、おもちゃ、文具等）」(19.7%)となっています。

問 14 子育て費用のうち、最も支出の大きい項目はなんですか。(○は1つ)

【未就学児・小学生】



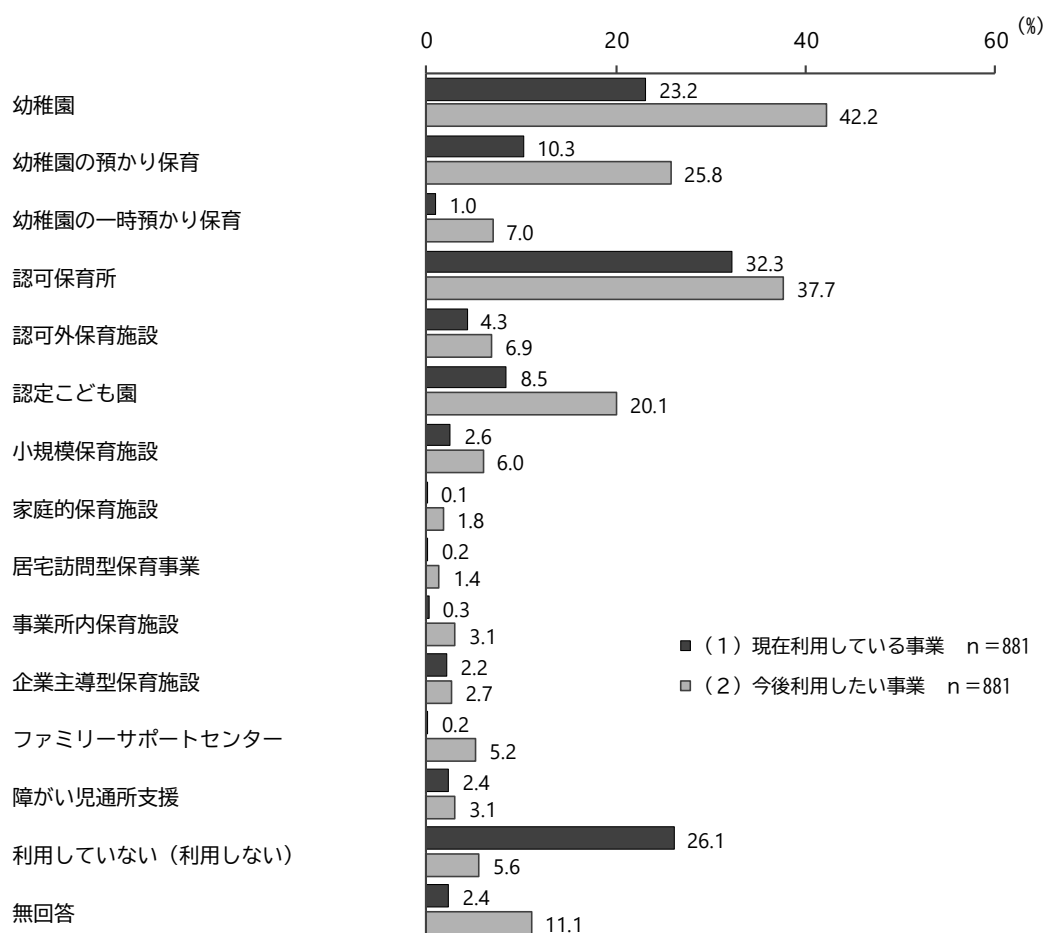
(4) 平日の「定期的な教育・保育事業」の利用状況・利用希望

① 保育所（園）・幼稚園等の利用状況（未就学児のみ）

- ▶利用している施設・事業について、「認可保育所」が 32.3%と最も高く、次いで「幼稚園」(23.2%)、「幼稚園の預かり保育」(10.3%)となっています。
なお、「利用していない」は 26.1%となっています。
- ▶今後利用したい施設・事業について、「幼稚園」が 42.2%と最も高く、次いで「認可保育所」(37.7%)、「幼稚園の預かり保育」(25.8%)となっています。

問 15 あて名のお子さんについて、(1)、(2)それぞれの項目についてお答えください。
 (1)現在、平日に定期的に利用している教育・保育事業
 (2)現在、利用している・利用していないにかかわらず、平日の教育・保育事業として今後定期的に利用したいもの（それぞれ〇はいくつでも）

【未就学児】



② こども誰でも通園制度の認知度・利用意向（未就学児のみ）

- ▶ 「こども誰でも通園制度」の認知度については、「知っている」が39.1%、「知らない」が60.0%となっています。
- ▶ 「こども誰でも通園制度」の利用意向については、「利用したい」が52.6%、「利用しない」が16.5%、「どちらでもない」が29.1%となっています。

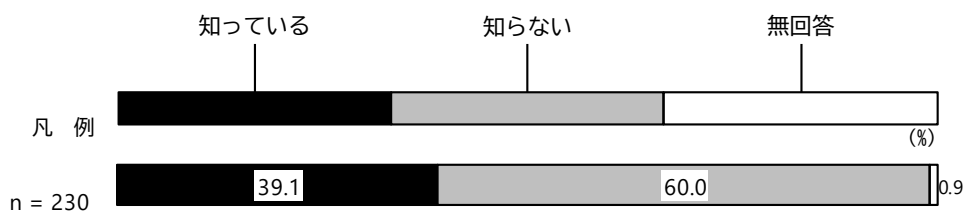
【問15(1)で⑭（教育・保育事業を利用していない）を選んだ方のみ、お答えください。】

問23(1) 「こども誰でも通園制度」をご存じですか。（○は1つ）

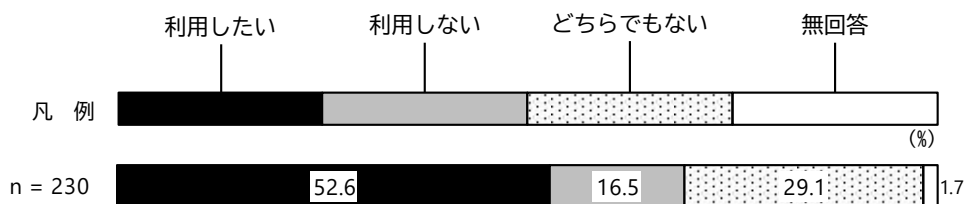
問23(2) 「こども誰でも通園制度」が実施された場合、ご利用になりますか。（○は1つ）

【未就学児】

(1) 認知度



(2) 利用意向



(5) 子育て支援事業の利用状況・利用希望

① 子育て支援事業の認知度・利用経験・利用意向（未就学児のみ）

- ▶ 子育て支援事業の認知度については、「子育てハンドブック等の子育て情報誌」が 52.2% と最も高く、次いで「母親教室、育児教室など子育てに関する学習や相談の場」(47.8%)、「ファミリーサポートセンター」(45.7%) となっています。
- ▶ 子育て支援事業の利用経験については、「子育てハンドブック等の子育て情報誌」が 25.9% と最も高く、次いで「母親教室、育児教室など子育てに関する学習や相談の場」(18.0%)、「子育て支援サイト」(14.9%) となっています。
- ▶ 子育て支援事業の利用意向については、「保育所・幼稚園の地域開放」が 20.8% と最も高く、次いで「子育て支援サイト」(18.4%)、「子育てサロンなど身近な地域における親子の集いの場」(16.7%) となっています。

問 42 以下の事業などについて、(1)、(2)、(3)それぞれの項目についてお答えください。

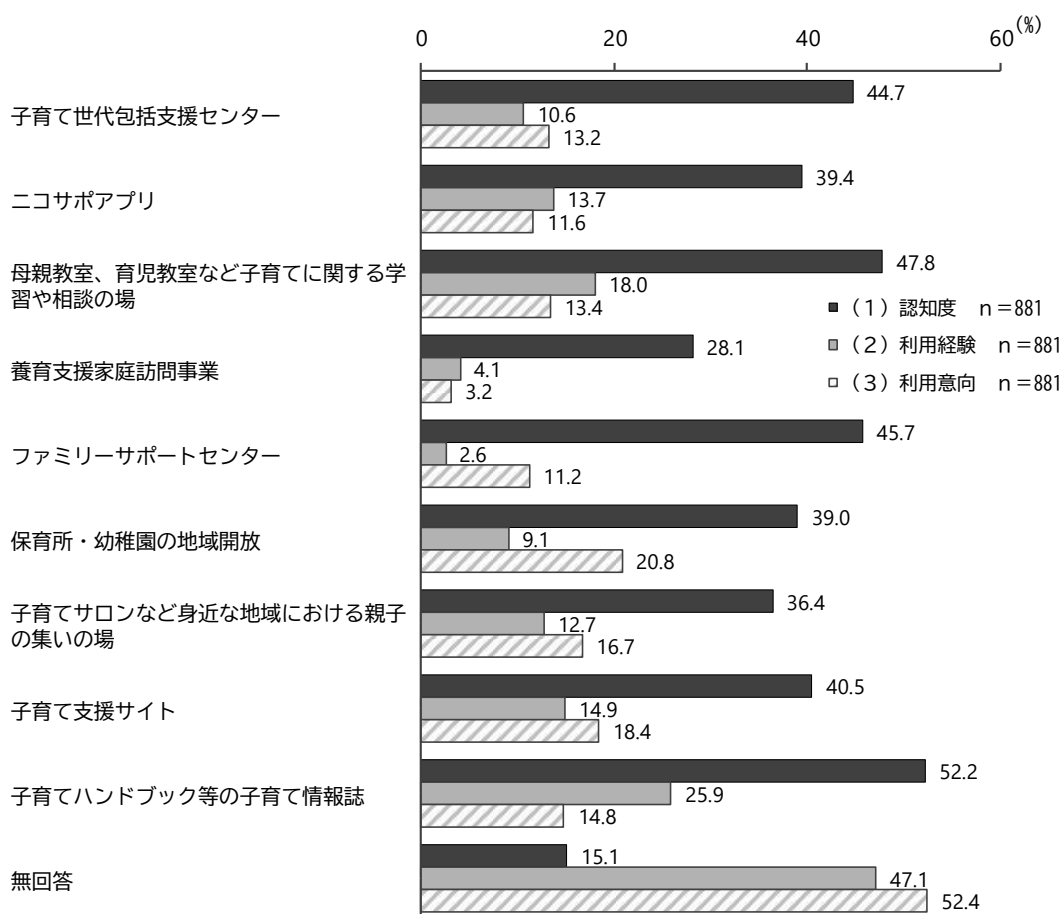
(1)知っているもの

(2)これまでに利用したことがあるもの

(3)今後、利用したいと思うもの

(あてはまる項目すべてに○)

【未就学児】



② 子育て支援施設の認知度・利用経験・利用意向（未就学児のみ）

- ▶子育て支援施設の認知度については、「ニコニコこども館」が80.0%と最も高く、次いで「ポップキッズこおりやま」(75.6%)、「東部地域子育て支援センター」(35.8%)となっています。
- ▶子育て支援施設の利用経験については、「ニコニコこども館」が75.9%と最も高く、次いで「ポップキッズこおりやま」(71.6%)、「西部地域子育て支援センター」(13.8%)となっています。
- ▶子育て支援施設の利用意向については、「ポップキッズこおりやま」が61.6%と最も高く、次いで「ニコニコこども館」(48.1%)、「希望ヶ丘児童センター」(9.9%)となっています。

問 43 以下の施設について、(1)、(2)、(3)それぞれの項目についてお答えください。

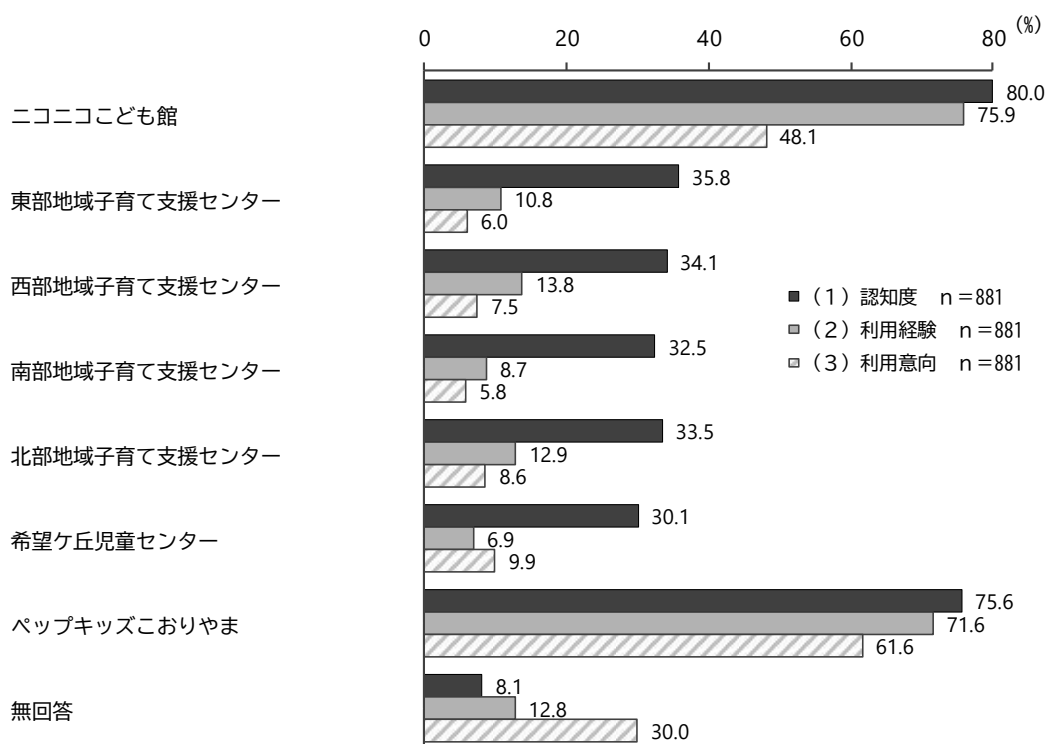
(1)知っているもの

(2)これまでに利用したことがあるもの

(3)今後、利用したいと思うもの

(あてはまる項目すべてに○)

【未就学児】



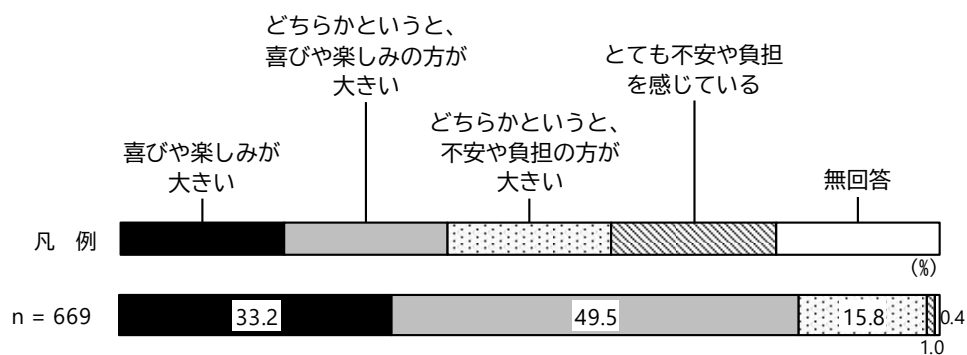
(6) 家庭の子育てについて

① 子育てについてどのように感じているか (小学生のみ)

▶子育てについてどのように感じているかについては、「どちらかというと、喜びや楽しみの方が大きい」が49.5%と最も高く、次いで「喜びや楽しみが大きい」(33.2%)、「どちらかというと、不安や負担の方が大きい」(15.8%)となっています。

問 29 子育てをどのように感じていますか。(○は1つ)

【小学生】

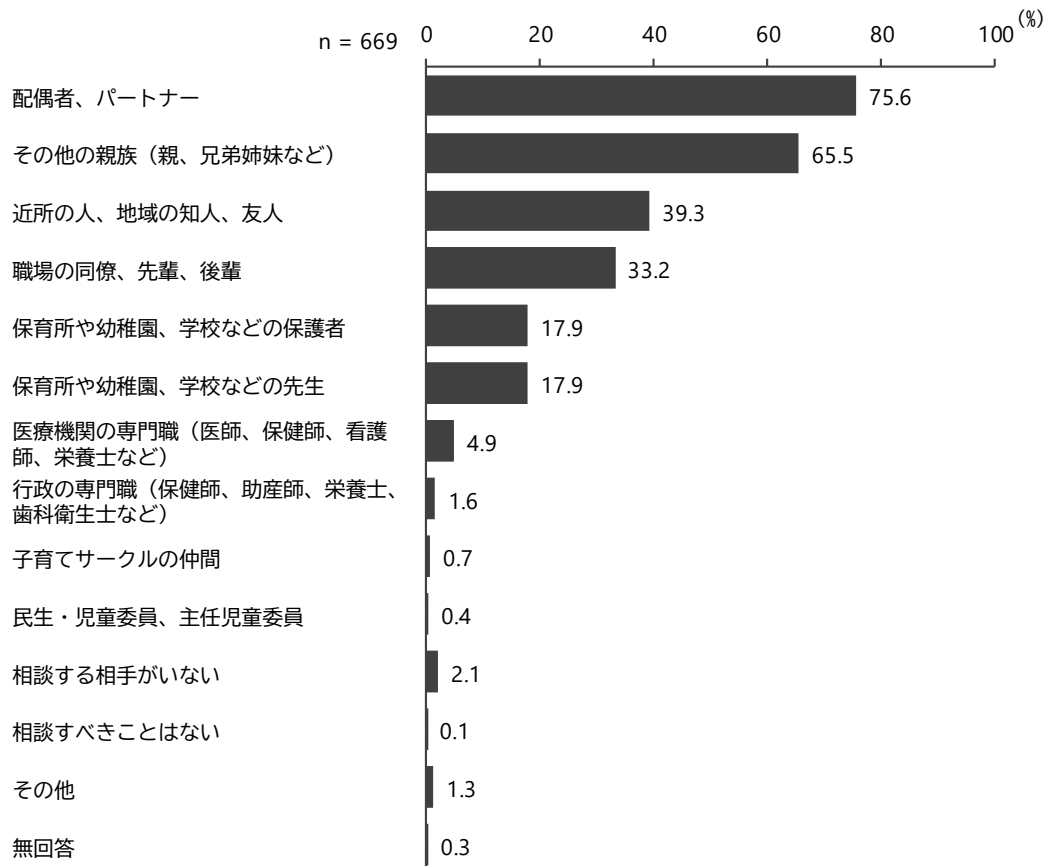


② 子育てについて、相談できる相手（小学生のみ）

▶子育てについて、相談できる相手については「配偶者、パートナー」が75.6%と最も高く、次いで「その他の親族（親、兄弟姉妹など）」（65.5%）、「近所の人、地域の知人、友人」（39.3%）となっています。

問 30 子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる相手はいますか。
（あてはまる番号すべてに○）

【小学生】



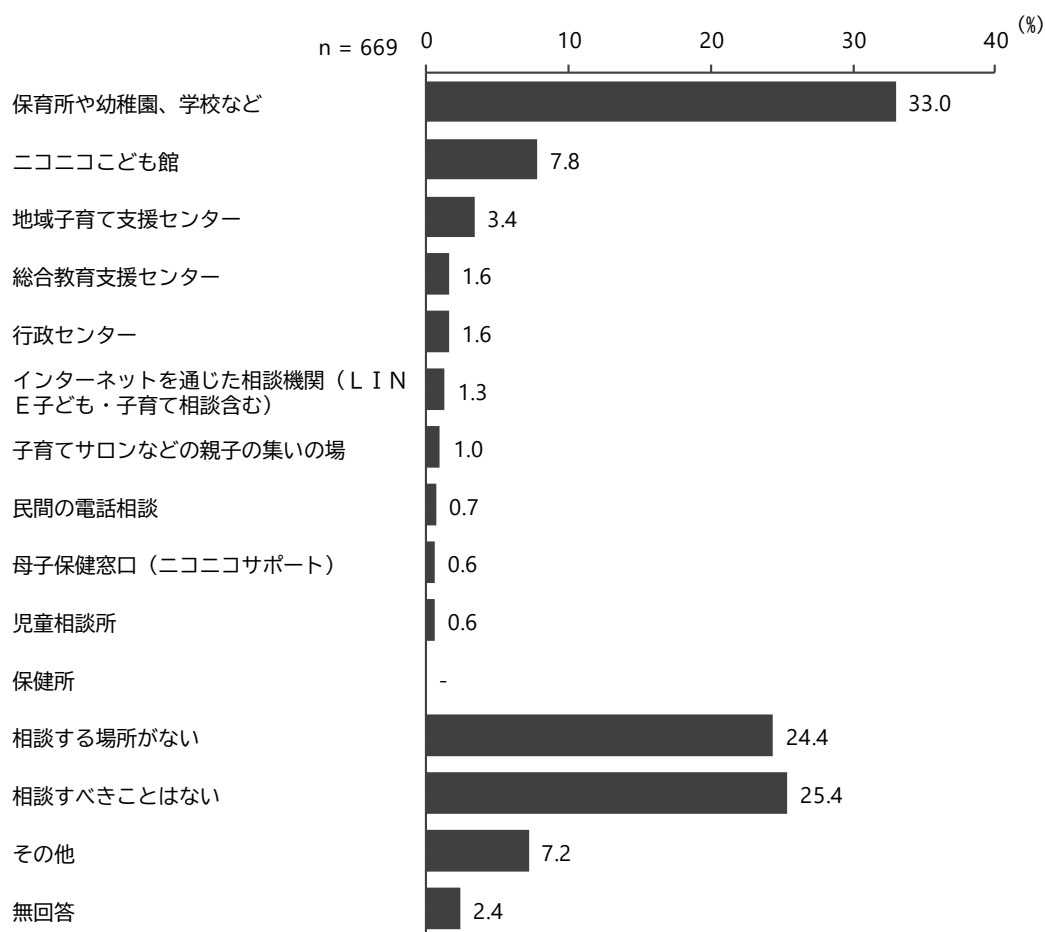
③ 子育てについて、相談できる場所（小学生のみ）

▶子育てについて、相談できる場所については、「保育所や幼稚園、学校など」が33.0%と最も高く、次いで「ニコニコこども館」（7.8%）、「地域子育て支援センター」（3.4%）となっています。

なお、「相談する場所がない」が24.4%、「相談すべきことはない」が25.4%となっています。

問 31 子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる場所はありますか。
（あてはまる番号すべてに○）

【小学生】

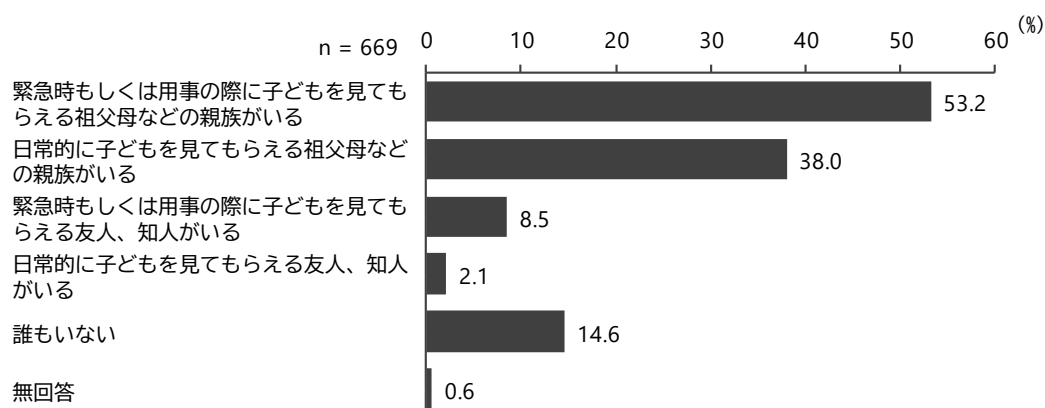


④ お子さんを見てもらえる親族・知人の有無（小学生のみ）

▶ お子さんを見てもらえる親族・知人の有無については、「緊急時もしくは用事の際に子どもを見てもらえる祖父母などの親族がいる」が53.2%と最も高く、次いで「日常的に子どもを見てもらえる祖父母などの親族がいる」(38.0%)、「緊急時もしくは用事の際に子どもを見てもらえる友人、知人がいる」(8.5%)となっています。なお、「誰もいない」は14.6%となっています。

問 32 日頃、あて名のお子さんを見てもらえる親族・知人はいますか。
(あてはまる番号すべてに○)

【小学生】

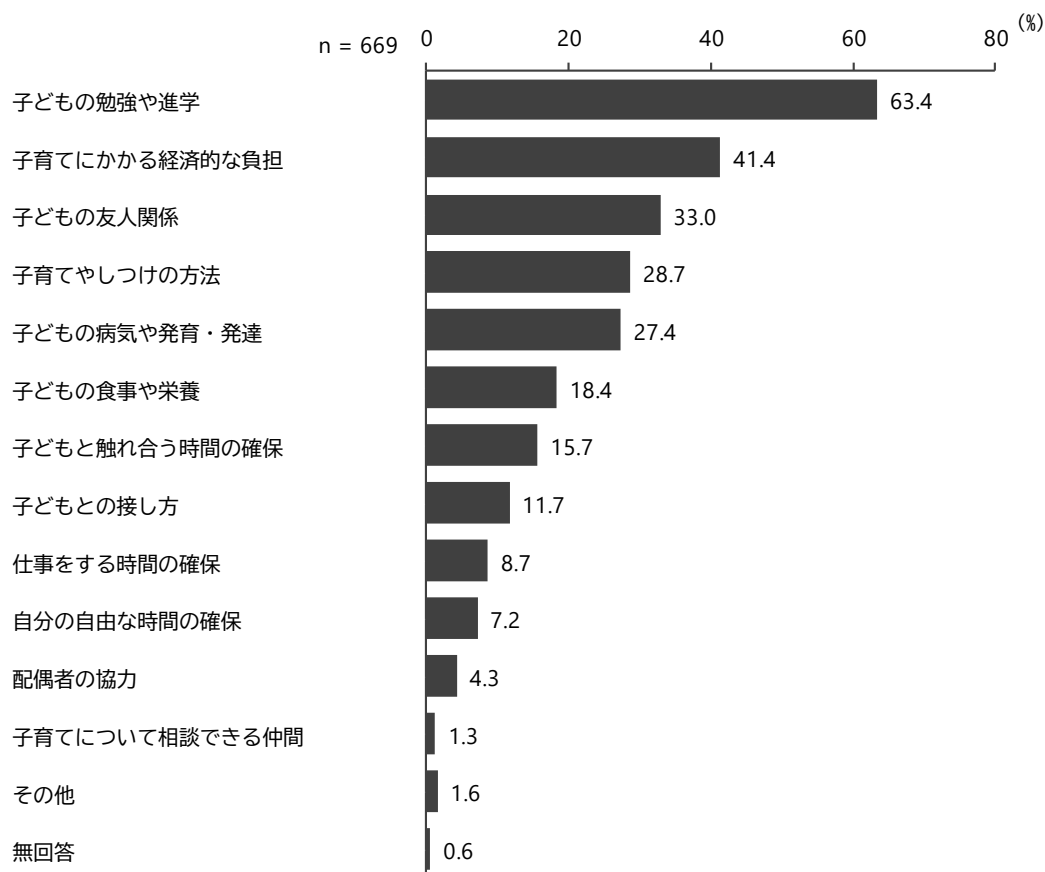


⑤ 子育てに関する、悩みや心配ごと（小学生のみ）

▶子育てに関する、悩みや心配ごとについては、「子どもの勉強や進学」が63.4%と最も高く、次いで「子育てにかかる経済的な負担」（41.4%）、「子どもの友人関係」（33.0%）となっています。

問 33 子育てに関して、悩みや心配ごとはありますか。上位3つまで選んでください。
(あてはまる番号3つまで○)

【小学生】

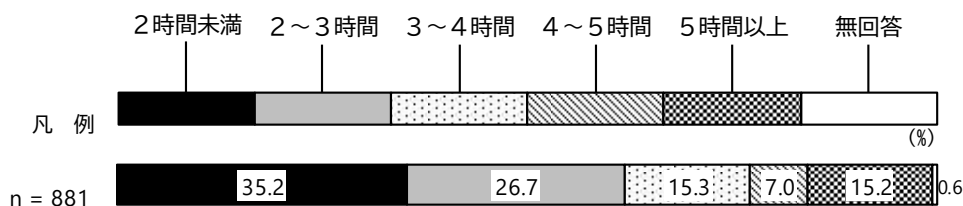


⑥ 1日あたりの子どものスキンシップの時間（未就学児のみ）

▶ 1日あたりの子どものスキンシップの時間について、「2時間未満」が 35.2%と最も高く、次いで「2～3時間」(26.7%)、「3～4時間」(15.3%)となっています。

問 51 あなたは、あて名のお子さんと1日にどのくらいスキンシップしていますか？（食事などの世話以外の、遊びや読み聞かせなど）（○は1つ）

【未就学児】

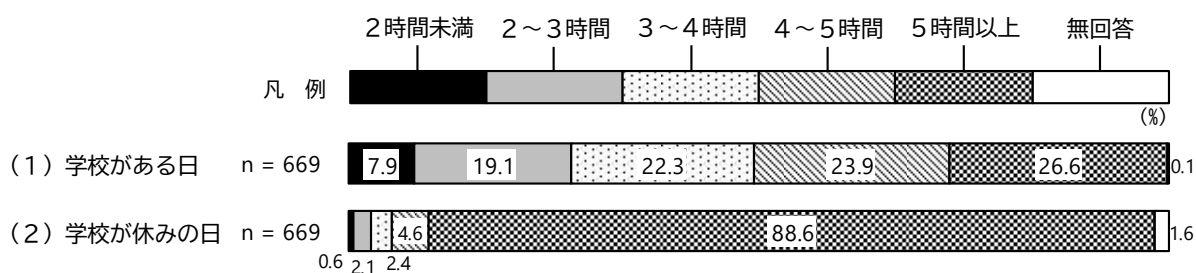


⑦ 子どもと家庭で一緒に過ごす時間（小学生のみ）

▶ 子どもと家庭で一緒に過ごす時間について、学校がある日と学校が休みの日では同傾向となっており、「5時間以上」（学校がある日 26.6%、学校が休みの日 88.6%）が最も高く、次いで「4～5時間」（学校がある日 23.9%、学校が休みの日 4.6%）、「3～4時間」（学校がある日 22.3%、学校が休みの日 2.4%）となっています。

問 36 あなたは、あて名のお子さんと家庭で一緒に過ごす時間はどれくらいありますか。（就寝時間を除く）（それぞれ○は1つ）

【小学生】

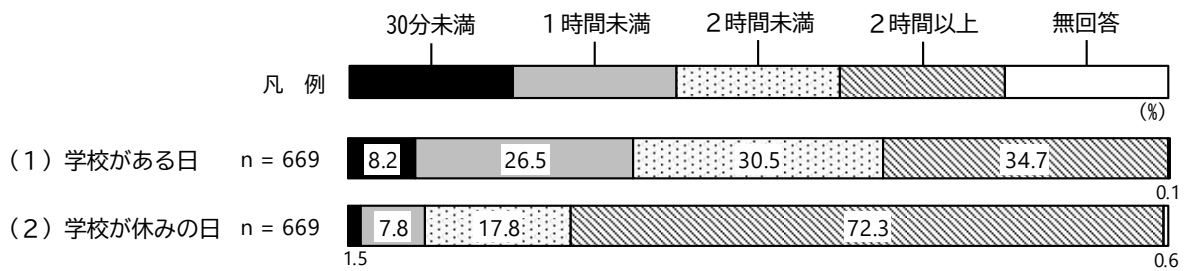


⑧ 子どもと家庭で会話する時間（小学生のみ）

▶子どもと家庭で会話する時間について、学校がある日と学校が休みの日では同傾向となっており、「2時間以上」（学校がある日 34.7%、学校が休みの日 72.3%）が最も高く、次いで「2時間未満」（学校がある日 30.5%、学校が休みの日 17.8%）、「1時間未満」（学校がある日 26.5%、学校が休みの日 7.8%）となっています。

問 37 あなたは、あて名のお子さんと家庭で一緒に過ごす時間のうち、どのくらいお子さんと会話をしていますか。（それぞれ○は1つ）

【小学生】



（7）地域の子育て支援

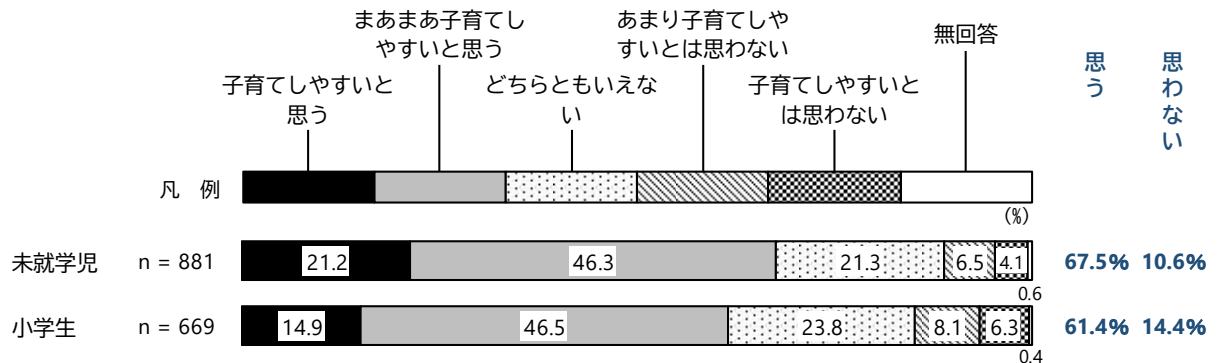
① 居住地区は、子育てしやすい環境だと感じるか

▶居住地区は、子育てしやすい環境だと感じるかについて、未就学児では、「子育てしやすいと思う」は 21.2%、「まあまあ子育てしやすいと思う」は 46.3%であり、子育てしやすいと『思う』（「子育てしやすいと思う」+「まあまあ子育てしやすいと思う」）は 67.5%となっています。

▶小学生では、「子育てしやすいと思う」は 14.9%、「まあまあ子育てしやすいと思う」は 46.5%であり、子育てしやすいと『思う』は 61.4%となっています。

問 56 [問 40] あなたのお住まいの地区は、子育てしやすい環境だと感じますか。（○は1つ）

【未就学児・小学生】

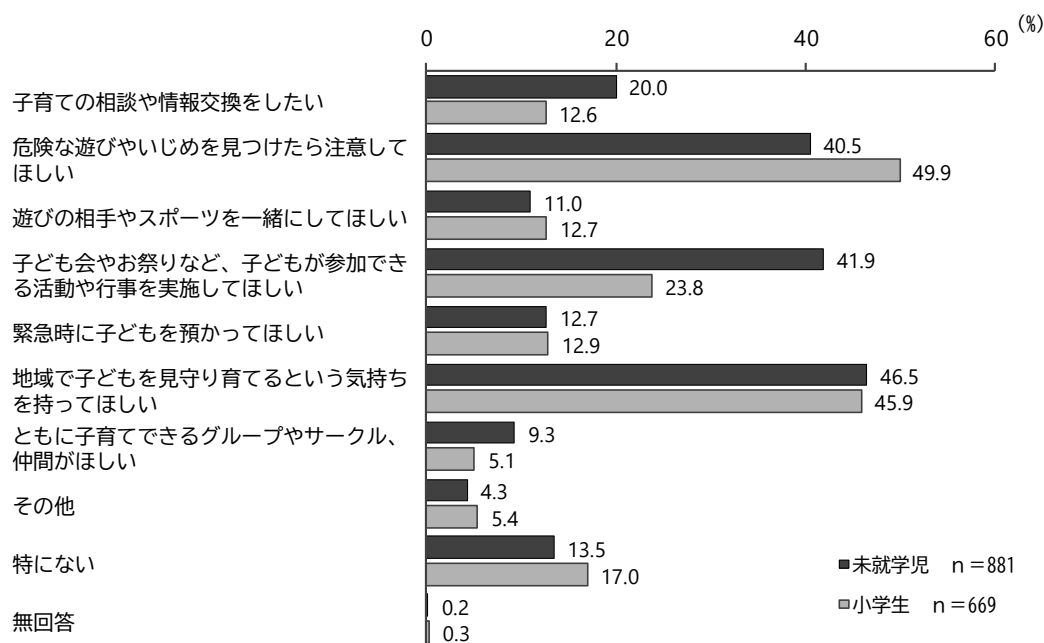


② 子育てにあたり、地域に求めること

- ▶子育てにあたり、地域に求めることについて、未就学児では、「地域で子どもを見守り育てるという気持ちを持ってほしい」が46.5%と最も高く、次いで「子ども会やお祭りなど、子どもが参加できる活動や行事を実施してほしい」(41.9%)、「危険な遊びやいじめを見つけたら注意してほしい」(40.5%)となっています。
- ▶小学生では、「危険な遊びやいじめを見つけたら注意してほしい」が49.9%と最も高く、次いで「地域で子どもを見守り育てるという気持ちを持ってほしい」(45.9%)、「子ども会やお祭りなど、子どもが参加できる活動や行事を実施してほしい」(23.8%)となっています。

問 57 [問 41] 子育てをするにあたって、地域の方々に求めることはありますか。上位3つまで選んでください。(あてはまる番号3つまで○)

【未就学児・小学生】

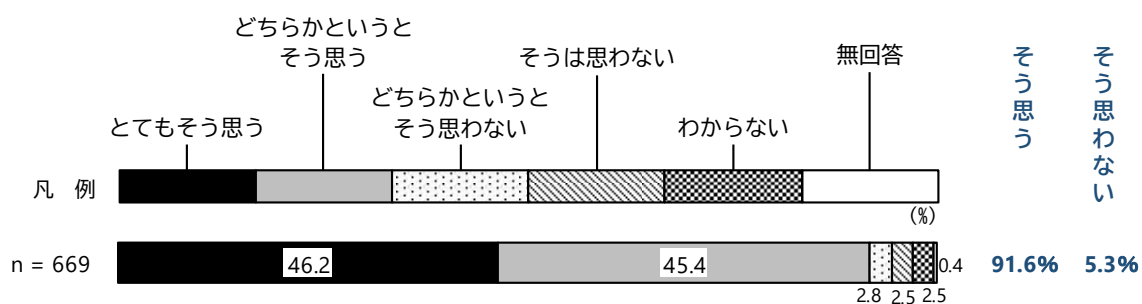


③ 学校は、子どもにとって大切な居場所の1つだと思うか（小学生のみ）

▶学校は、子どもにとって大切な居場所の1つだと思うかについて、「とてもそう思う」は46.2%、「どちらかというと思う」は45.4%であり、『そう思う』（「とてもそう思う」+「どちらかというと思う」）は91.6%となっています。
また、『そう思わない』（「どちらかというと思わない」+「そうは思わない」）は5.3%となっています。

問42 学校は、子どもが安全に安心して過ごすことができる、子どもにとって大切な居場所の1つであると思いますか。（○は1つ）

【小学生】



(8) 今後の市の取組について

- ▶ 満足している取組について、未就学児では、「子どもが安心して遊べる施設の整備」が39.6%と最も高く、次いで「保育所や幼稚園などの費用軽減」(39.2%)、「待機児童の解消」(16.9%)となっています。
- ▶ 満足していない取組について、未就学児では、「保育所や幼稚園などの費用軽減」が36.0%と最も高く、次いで「仕事と子育ての両立の推進」(26.3%)、「子どもが安心して遊べる施設の整備」(24.2%)となっています。
- ▶ 重要だと思う取組について、未就学児では、「保育所や幼稚園などの費用軽減」が46.7%と最も高く、次いで「仕事と子育ての両立の推進」(35.1%)、「子どもが安心して遊べる施設の整備」(34.8%)となっています。

問 58 市の子育て支援の取組について、(1)、(2)、(3)それぞれの項目について上位3つまで選んでください。

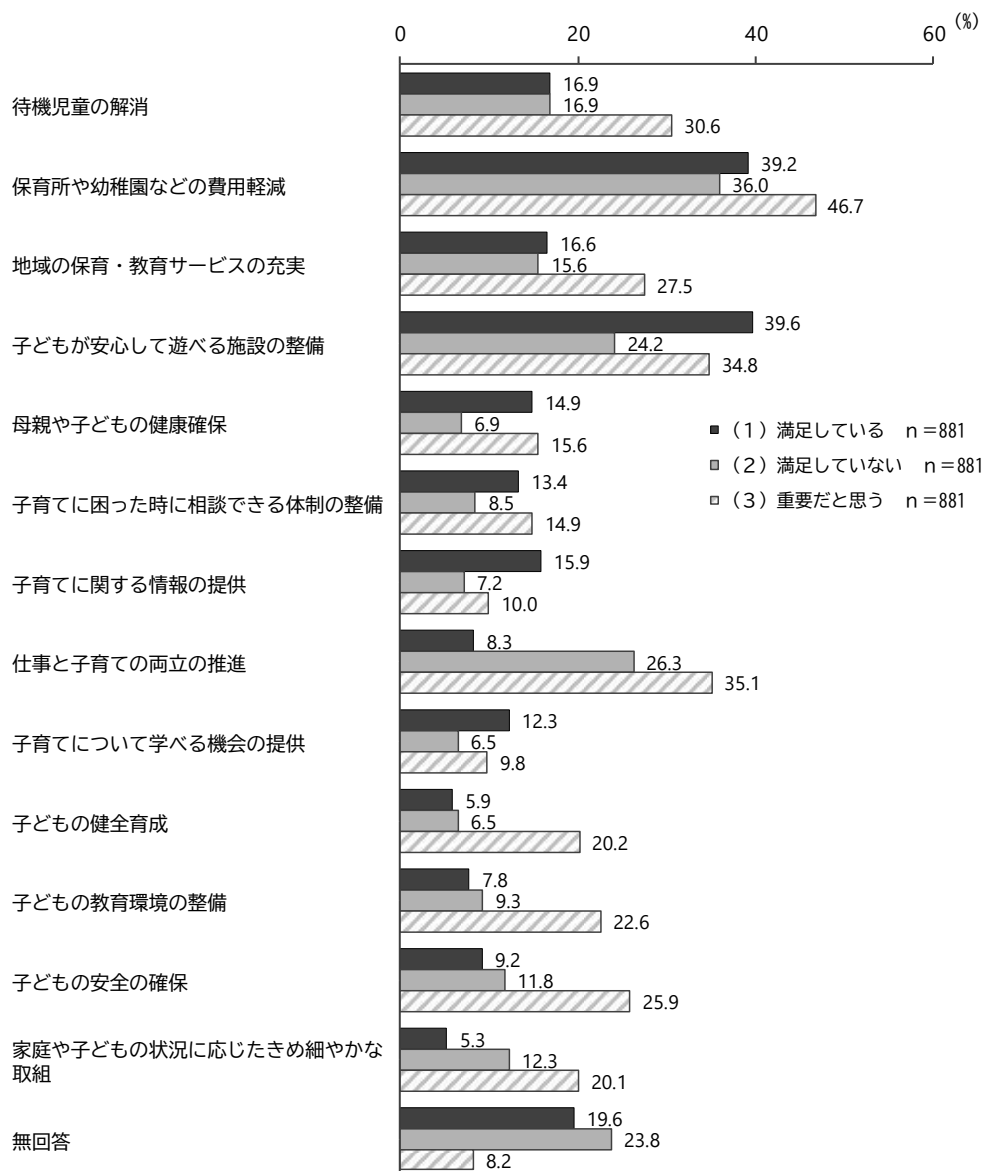
(1)現状として満足している取組

(2)現状として満足していない取組

(3)今後、重要だと思う取組

(それぞれあてはまる項目3つまで○)

【未就学児】



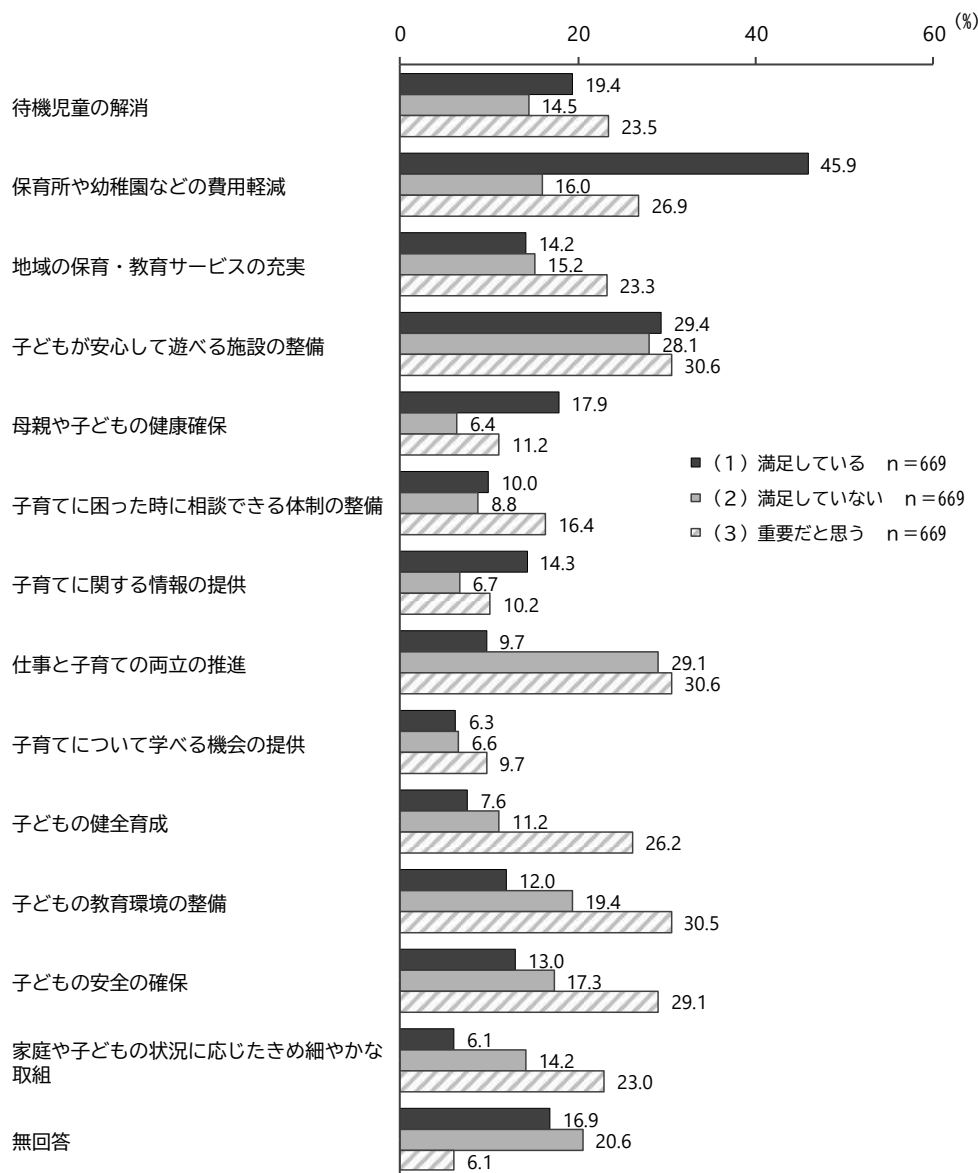
- ▶満足している取組について、小学生では、「保育所や幼稚園などの費用軽減」が45.9%と最も高く、次いで「子どもが安心して遊べる施設の整備」(29.4%)、「待機児童の解消」(19.4%)となっています。
- ▶満足していない取組について、小学生では、「仕事と子育ての両立の推進」が29.1%と最も高く、次いで「子どもが安心して遊べる施設の整備」(28.1%)、「子どもの教育環境の整備」(19.4%)となっています。
- ▶重要だと思う取組について、小学生では、「子どもが安心して遊べる施設の整備」と「仕事と子育ての両立の推進」がともに30.6%と最も高く、次いで「子どもの教育環境の整備」(30.5%)となっています。

問 43 市の子育て支援の取組について、(1)、(2)、(3)それぞれの項目について上位3つまで選んでください。

- (1)現状として満足している取組
- (2)現状として満足していない取組
- (3)今後、重要だと思う取組

(それぞれ〇は3つまで)

【小学生】



2 【子ども・若者に関するアンケート調査】

(1) 対象者の状況

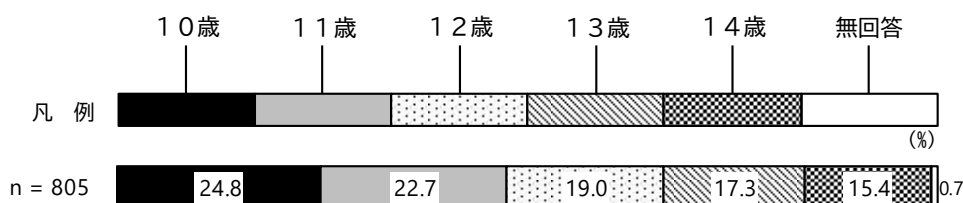
① 対象者の年齢

- ▶対象者の年齢について、10～14歳では、「10歳」が24.8%と最も高く、次いで「11歳」(22.7%)、「12歳」(19.0%)となっています。
- ▶15～39歳では、「35～39歳」が26.8%と最も高く、次いで「15～19歳」(20.7%)、「25～29歳」(19.8%)となっています。

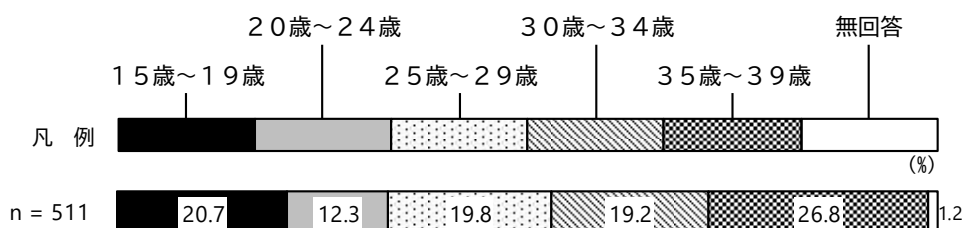
問2 あなたの年齢についてお答えください。

令和6年4月1日のときにあなたは何歳でしたか。(数字でご記入ください。)

【10～14歳】



【15～39歳】



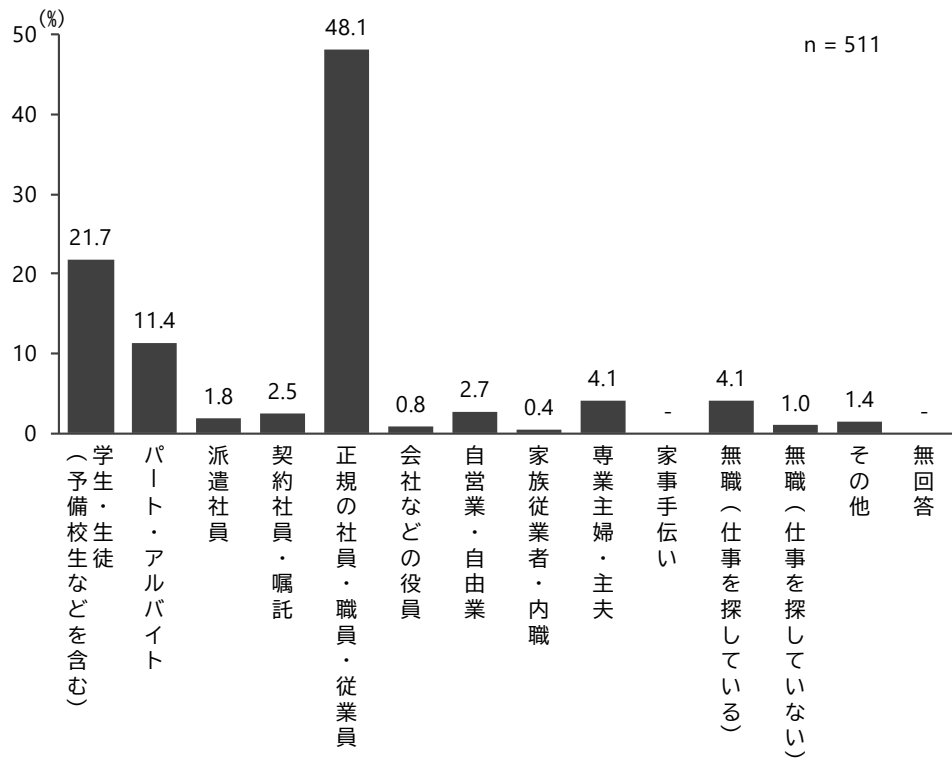
② 現在の就労状況（15～39歳のみ）

▶対象者の現在の就労状況について、「正規の社員・職員・従業員」が48.1%と最も高く、次いで「学生・生徒（予備校生などを含む）」（21.7%）、「パート・アルバイト」（11.4%）となっています。

問8 あなたの現在の仕事をお答えください。

（○は1つ）

【15～39歳】



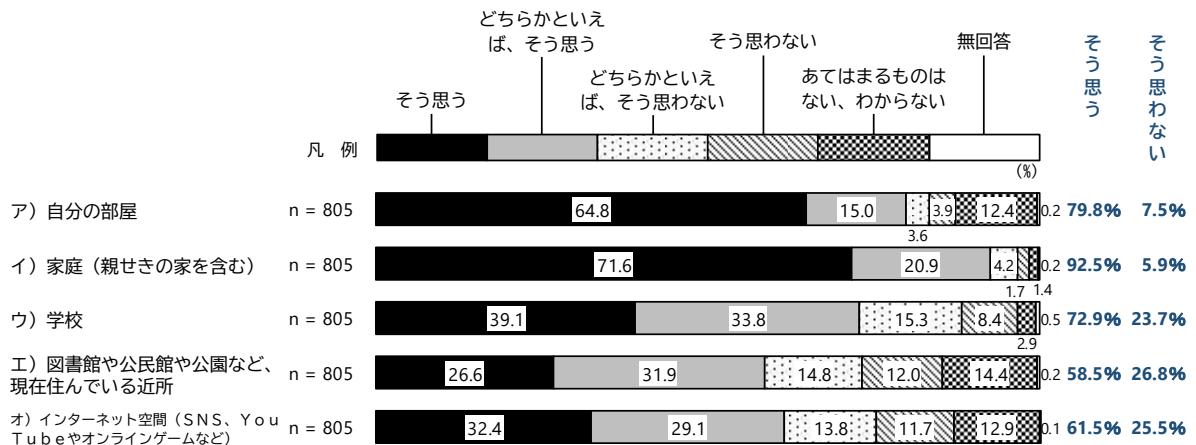
(2) 日頃の意識と生活について

① 居場所の有無

▶居場所の有無について、10～14 歳では、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」）は、“イ）家庭”が92.5%と最も高く、次いで“ア）自分の部屋”（79.8%）、“ウ）学校”（72.9%）となっています。

問7 次の場所は、今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、安心できる場所）になっていますか。（それぞれ○は1つ）

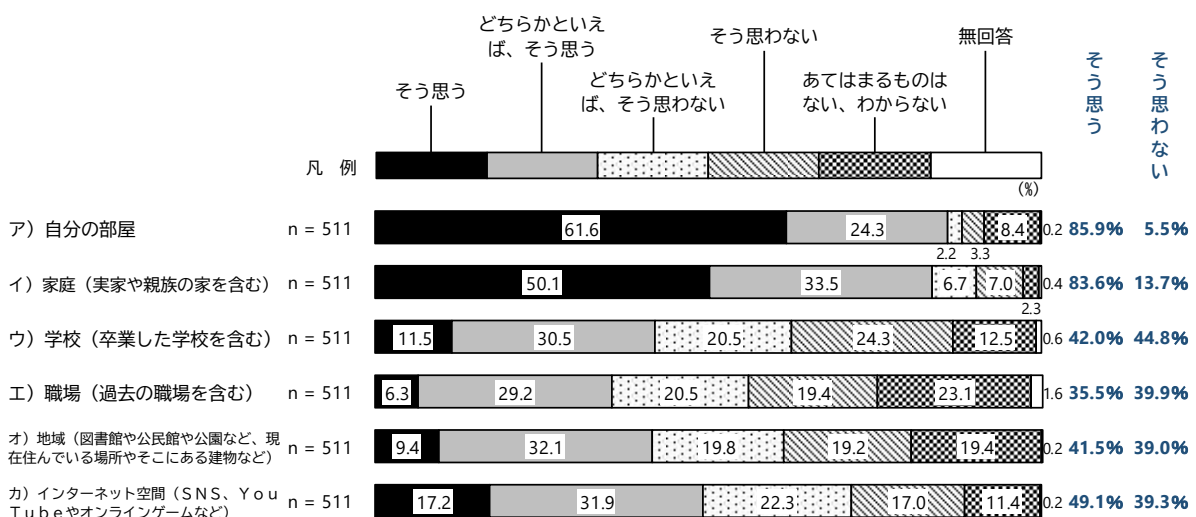
【10～14 歳】



▶居場所の有無について、15～39 歳では、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」）は、“ア）自分の部屋”が85.9%と最も高く、次いで“イ）家庭”（83.6%）、“カ）インターネット空間”（49.1%）となっています。

問14 次の場所は、今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、安心できる場所など）になっていますか。（それぞれ○は1つ）

【15～39 歳】

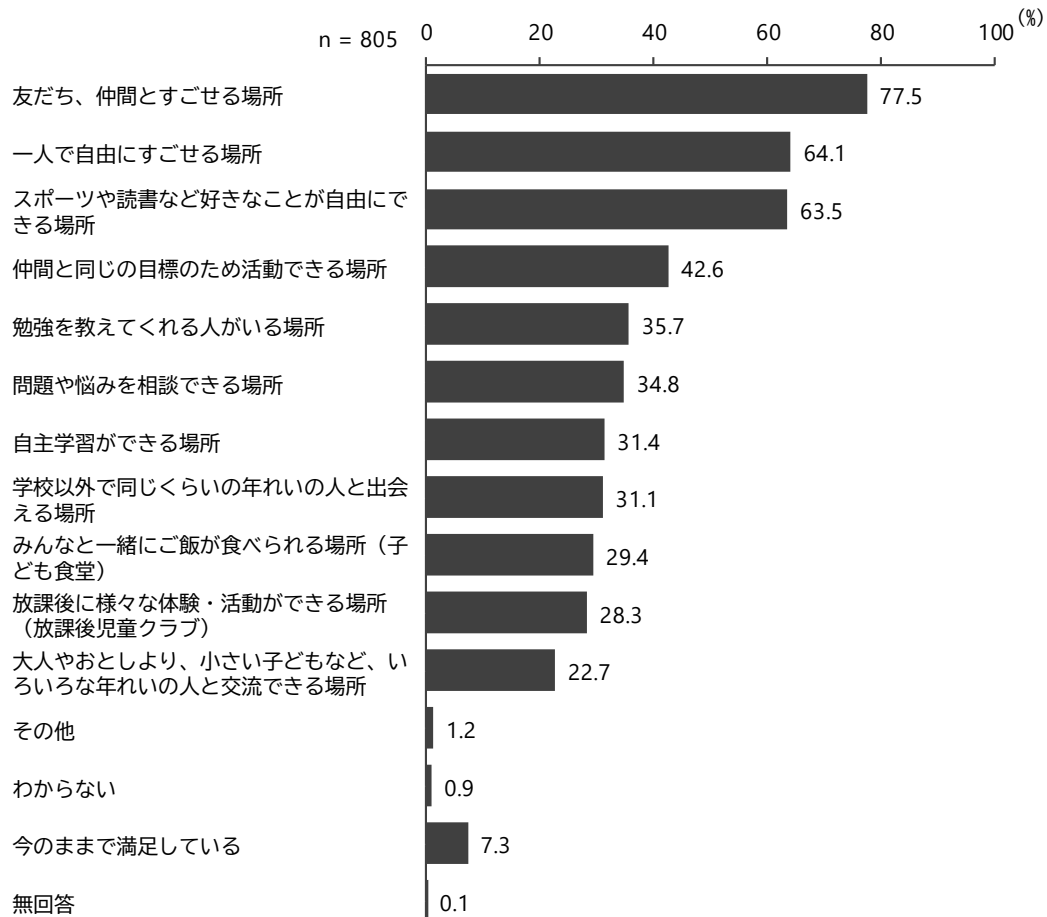


② あったらいいと思う居場所（10～14歳のみ）

▶あったらいいと思う“居場所”について、「友だち、仲間とすごせる場所」が77.5%と最も高く、次いで「一人で自由にすごせる場所」（64.1%）、「スポーツや読書など好きなことが自由にできる場所」（63.5%）となっています。

問8 あなたは、どのような“居場所”があればいいと思いますか。（〇はいくつでも）

【10～14歳】

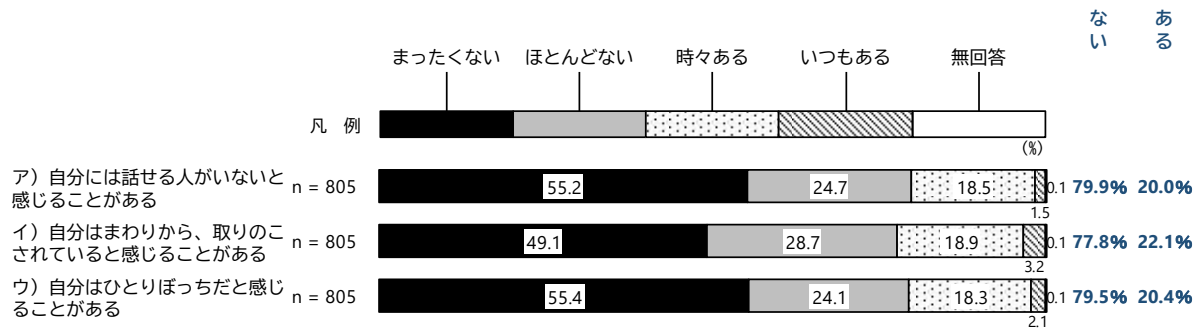


③ 孤独感

- ▶ “ア) 自分には話せる人がいないと感じることがある” について、10～14 歳では、『ない』（「まったくない」 + 「ほとんどない」）は 79.9% となっており、『ある』（「時々ある」 + 「いつもある」）は 20.0% となっています。
- ▶ “イ) 自分はまわりから、取りのこされていると感じることがある” について、10～14 歳では、『ない』は 77.8% となっており、『ある』は 22.1% となっています。
- ▶ “ウ) 自分はひとりぼっちだと感じることがある” について、10～14 歳では、『ない』は 79.5% となっており、『ある』は 20.4% となっています。

問 10 以下のア)～ウ)の項目について、あなたはどのくらいよく感じていますか。
(それぞれ○は1つ)

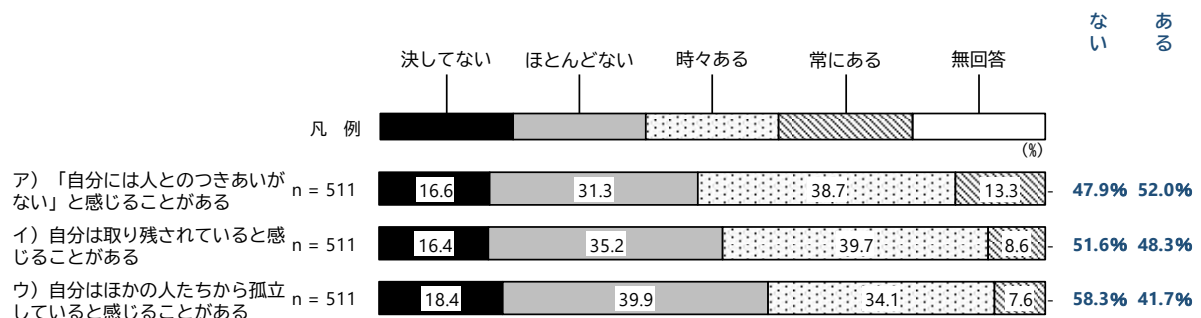
【10～14 歳】



- ▶ “ア) 「自分には人とのつきあいが無い」と感じる” について、15～39 歳では、『ない』（「まったくない」 + 「ほとんどない」）は 47.9% となっており、『ある』（「時々ある」 + 「いつもある」）は 52.0% となっています。
- ▶ “イ) 自分は取り残されていると感じることがある” について、15～39 歳では、『ない』は 51.6% となっており、『ある』は 48.3% となっています。
- ▶ “ウ) 自分はほかの人たちから孤立していると感じることがある” について、15～39 歳では、『ない』は 58.3% となっており、『ある』は 41.7% となっています。

問 15 次について、あなたはどのくらいの頻度で感じますか。
(それぞれ○は1つ)

【15～39 歳】

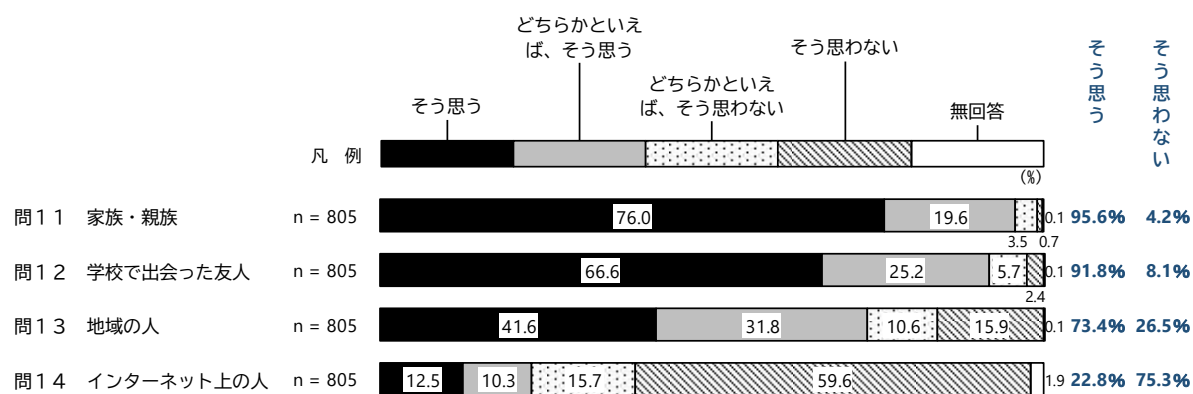


④ 困ったときに助けてくれる人の有無

▶他者との関わり方に関する設問（問11～問14）の“イ）こまったときは助けてくれる”から、困ったときに助けてくれる人の有無をみると、10～14歳では『そう思う』（「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」）の割合は、“家族・親族”が95.6%と最も高く、次いで“学校で出会った友人”（91.8%）、“地域の人”（73.4%）となっています。

- 問11 家族・親せきとあなたのかかわりは、どのようなものですか。
- 問12 学校で出会った友だち（現在通っている学校やこれまでに通っていた学校の友だちなど）と、あなたのかかわりは、どのようなものですか。
- 問13 地域の人（近所の人、塾や習い事での友だちなど）と、あなたのかかわりは、どのようなものですか。
- 問14 インターネット上における人やグループ（実際には会ったことがなかったり、または、何回か会ったことはあっても、ほとんどインターネット中心の付き合いの人やグループ）と、あなたのかかわりは、どのようなものですか。

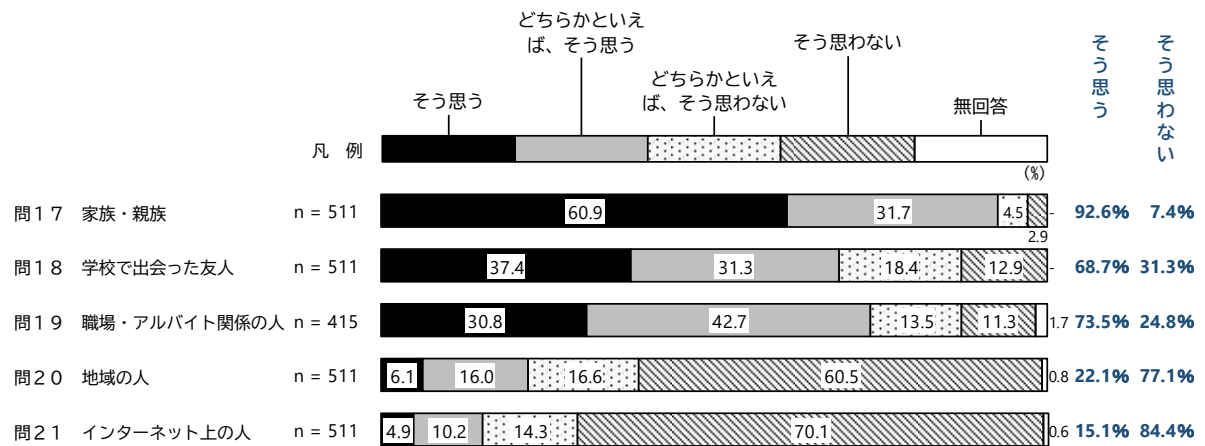
【10～14歳】



▶他者との関わり方に関する設問（問 17～問 21）の“（工）困ったときは助けてくれる”から困ったときに助けてくれる人の有無をみると、15～39 歳では、『そう思う』の割合は、“家族・親族”が 92.6%と最も高く、次いで“職場・アルバイト関係の人”（73.5%）、“学校で出会った友人”（68.7%）となっています。

- 問 17 家族・親族とあなたのかかわりは、どのようなものですか。
- 問 18 学校で出会った友人（現在通っている学校の友人、かつての同窓生など）と、あなたの現在のかかわりは、どのようなものですか。
- 問 19 職場・アルバイト関係の人（現在及び過去の職場の同僚・上司・部下、その他仕事の関係で知り合った人など）と、あなたの現在のかかわりは、どのようなものですか。
- 問 20 地域の人（近所の人、町内会などの知人、消防団などの地域活動での知人、塾や習い事での知人、参加している NPO 法人など）と、あなたのかかわりは、どのようなものですか。
- 問 21 インターネット上における人やグループ（実際には会ったことがなかったり、または、何回か会ったことはあっても、基本的にはインターネット中心の付き合いの人やグループ）と、あなたのかかわりは、どのようなものですか。
- （それぞれ○は1つ）

【15～39 歳】

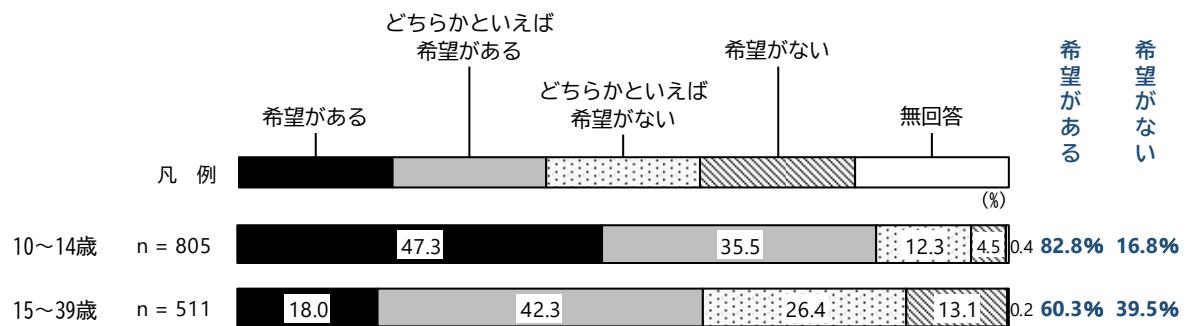


⑤ 将来への希望

- ▶ “自分の将来について明るい希望を持っているか” について、10～14 歳では、「希望がある」という回答者は 47.3%で、「どちらかといえば希望がある」(35.5%) を合わせると、82.8%が、自身の将来への希望について肯定的な認識を示しています。
- ▶ 15～39 歳では、「希望がある」という回答者は 18.0%で、「どちらかといえば希望がある」(42.3%) を合わせると、60.3%が、自身の将来への希望について肯定的な認識を示しています。

問 17 あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。 (○は1つ)

【10～14 歳・15～39 歳】

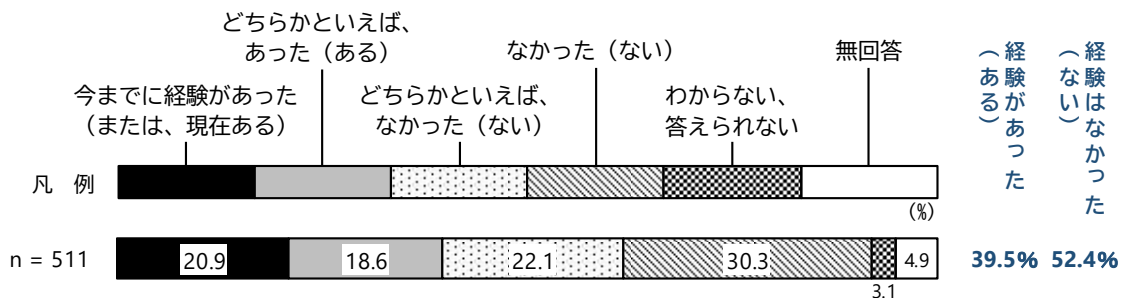


⑥ 困難に直面した経験 (15～39 歳のみ)

- ▶ 社会生活や日常生活を円滑に送る上での困難について、「今までに経験があった(または、現在ある)」は 20.9%、「どちらかといえば、あった(ある)」は 18.6%で、『経験があった(ある)』(「今までに経験があった(または、現在ある)」 + 「どちらかといえば、あった(ある)」)は 39.5%となっています。

問 32 あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることできなかった経験がありましたか。または、現在、社会生活や日常生活を円滑に送れていない状況がありますか。 (○は1つ)

【15～39 歳】



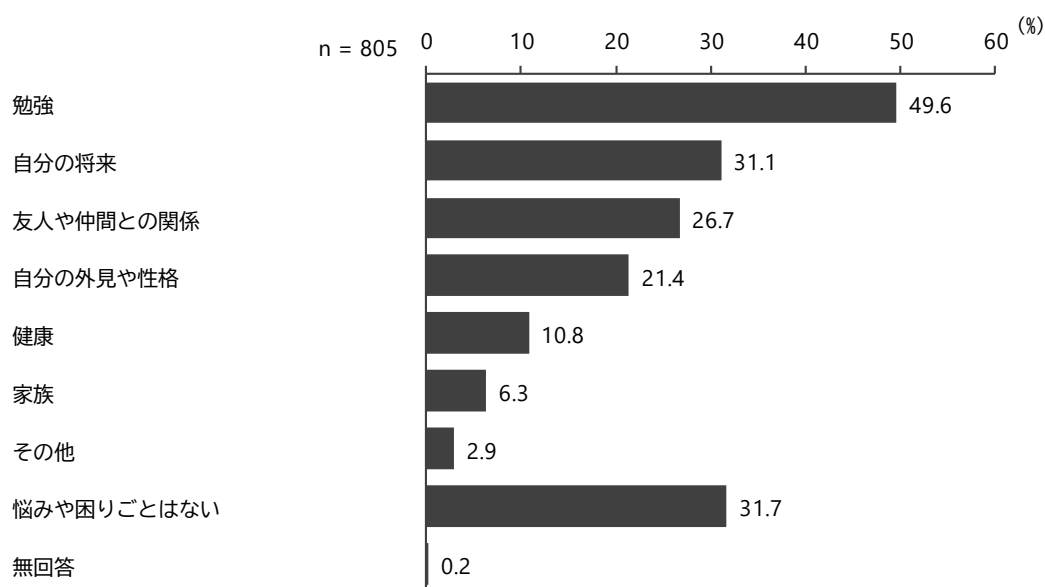
(3) 悩みごとや相談先

① 悩みごとや困りごと (10~14歳のみ)

▶悩みごとや困りごとについて、「勉強」が49.6%と最も高く、次いで「自分の将来」(31.1%)、「友人や仲間との関係」(26.7%)となっています。
なお、「悩みや困りごとはない」は、31.7%となっています。

問28 あなたはいま、どんなことに悩んだり困ったりしていますか。(〇はいくつでも)

【10~14歳】

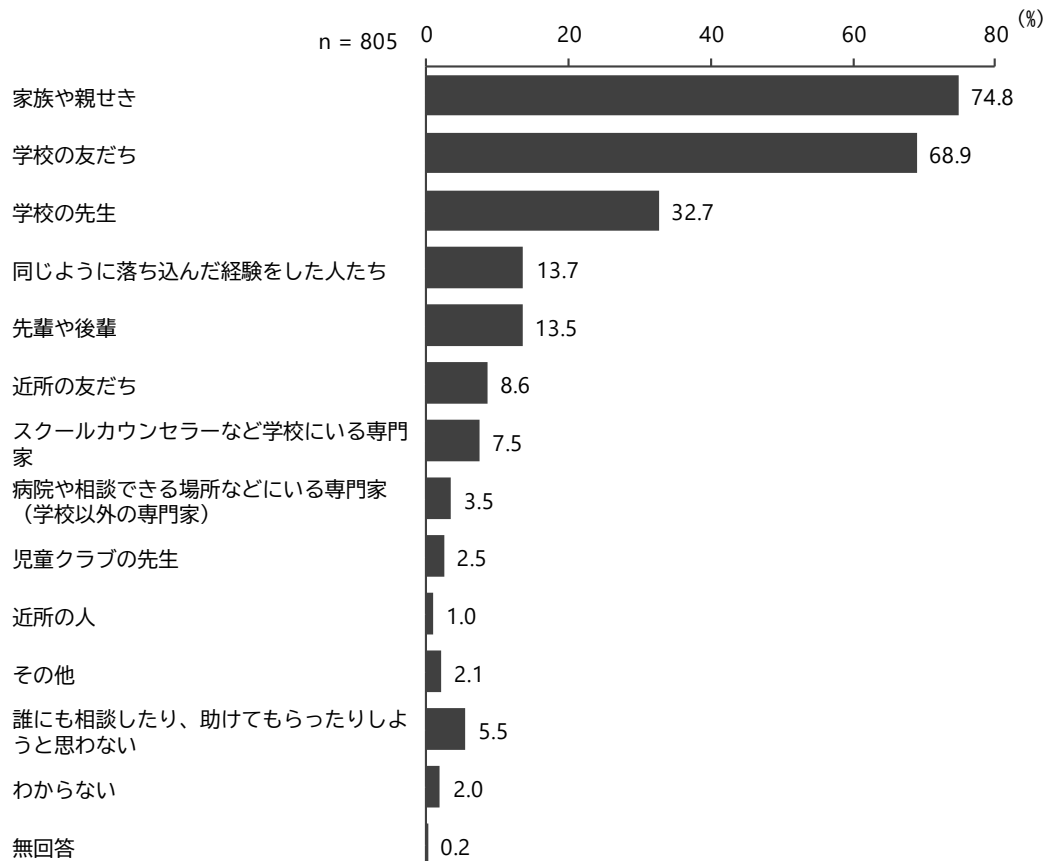


② 落ち込んだときの相談相手（10～14歳のみ）

▶ものがとうまくいかず落ち込んだときに、相談したり、助けてもらったりしやすいと感じる相談相手について、「家族や親せき」が74.8%と最も高く、次いで「学校の友だち」（68.9%）、「学校の先生」（32.7%）となっています。

問29 あなたが、ものがとうまくいかず落ち込んだときに、どういった人なら、相談したり、助けてもらったりしやすいと感じますか。

【10～14歳】



(4) 今後の郡山市への居留意向 (15~39 歳のみ)

▶ 今後の郡山市への居留意向について、「そう思う」は 30.1%、「どちらかといえば、そう思う」は 44.0%であり、『そう思う』（「そう思う」 + 「どちらかといえば、そう思う」）は 74.1%となっています。

問 42 あなたは郡山市に今後も住みたいと思いますか。または、一時期市外に転出しても将来的には郡山市に住みたいと思いますか。 (○は1つ)

【15~39 歳】

